

職員の皆様へ ～平成30年度のスタートに当たって～

2018年4月2日 守山市長 宮本和宏

1. はじめに

守山市は、日本全体が人口減少社会の中で人口増加が継続しており、本年2月末には、82,721人に達し、日本の中でも希有な状況にあります。これは、守山市が「住み続けたいまち」「住みたいまち」であることを象徴しています。

我々市役所の役割は、先人や地域の皆様が築いてきた、この素晴らしい守山に一層の磨きをかけ、市民福祉の向上と市政の発展を通じて、市民の皆さんが「守山に住んで良かった」と真に実感頂ける守山を実現することです。

各部や課における施策や仕事の一つ一つが市政の発展や市民福祉の向上に繋がっているのだという意識と自信を常に持ち、職務に精励頂きたい。

守山市の最大の財産は、「まちを良くしたい」「地域を良くしたい」という強い思いをお持ちの市民お一人お一人です。市民のお知恵・お力をお借りし、市民とともにまちづくりを展開することで、『活力ある「住みやすさ日本一」が実感できる守山』を目指します。

2. 平成30年度の最重要課題と重点施策の柱

平成30年度は、環境センターの更新を引き続き最重要課題とする中で、次の4つの重点施策の柱を設け、子育て支援、高齢化対策、教育の充実等の諸課題の解決に取り組んでいきます。

- ①子育て施策・福祉施策（高齢者・障害者対策）の充実
- ②教育環境の充実と文化・スポーツの振興
- ③地方創生と連携した地域活性化と環境学習都市の実現
- ④市民から信頼される市政運営（財政規律、協働、防災・防犯、行政改革・スクラップ等）

環境センターの更新については、昨年11月2日に地元4自治会長（今浜、水保、立田、幸津川）と合意を意味する基本協定書の締結を行ったところです。今日までの庁内一丸となった取り組みに感謝を申し上げます。

今年度にあっては、環境施設の本体の整備と地域活性化のための付帯施設の整備に向けた取り組みを推進します。環境施設本体については平成33年10月操業開始、温水プールを含む交流拠点施設については平成32年4月供用開始を目指して取り組みます。併せて、地域課題の解決とごみの分別方法の見直しに取り組むため、引き続き、最重要課題の環境センターの更新については、庁内一丸となった取り組みをお願いします。

昨年11月に市内中学校で発生した事案を踏まえて、再発防止に万全を尽くし、学校現場・教育委員会・市長部局一丸となって取り組んでいく。

また、子どもたちを取り巻く社会環境の急激な変化を踏まえて、「政策員（こどもの育ち連携担当）」を設けたところであり、子どもたちの成長する環境（家庭・地域・学校等）や成長のステージ（妊娠期・未就学・小学校・中学校等）について縦割りではなく、横串により、保健・福祉・教育が連携し、次代を担う社会の宝物である子どもたちが健やかにたくましく成長できる環境の充実に取り組んでいく。

小中学校の大規模校化（守山小学校・守山南中学校）の課題については、精緻な児童・生徒数の推計を行い、これを踏まえ、今後の対策を整理し、市議会と議論する中で方向性を定める。

守山市民病院は、昨日４月１日から指定管理として滋賀県済生会による経営に移行したところ。これまでの１年間の済生会との協議・調整に感謝申し上げるとともに、円滑な運営ができるよう、運営状況について適宜情報収集を行うとともに、必要に応じ技術的助言等をお願いします。

市庁舎については、昨年９月に市議会の総意として提言を頂いたところであるが、①平成３２年度までの市町村役場緊急保全事業を活用するには大変厳しいスケジュールであること、②環境センター整備等が控えており、このまま庁舎整備を進めると大変厳しい財政状況となること、③平成３２年度からの幼児教育・保育の無償化に伴い施設と保育士の質・量両面からの充実が必要であり、十分な対応を行わなければならないこと、から先送りすべきと判断したところ。今後、市議会の提言を尊重する中、財政推計をしっかりと行った上で、環境施設本体の完成後の適切な時期において整備に着手することとしており、今後とも立ち止まることなく進めていく。市民の皆様へのワンストップサービスの提供や働きやすい職場環境を創る観点から、市役所職員のアイデアや市民の皆様の意見を広く聞いていくこととしている。

３．留意点

世界情勢を含む社会経済情勢の変化や少子高齢化の進展を踏まえ、今後は、前例踏襲型では全ての問題が解決できず、「アイデア（知恵）」と「連携」で課題を克服していく時代となります。故に、市役所職員一人一人の「人材」こそ宝です。是非、職員一人一人が以下を念頭に置いて職務に取り組んで下さい。

- ①施策のインテグレート（統合化）・施策の連携
- ②働き方改革（a. 「イクボス宣言」、b. 残業時間の縮減、c. 育児中職員の時間休を取りやすい環境（職場内の理解を含め）、d. 有給休暇を活用した家族サービスや自己研鑽、e. 会議時間の短縮）
- ③人づくり改革（管理職のリーダーシップ＋人材育成）
- ④自己研鑽（情報収集・情報整理、情報共有・意見交換、職場内交流・異業種交流等）
- ⑤各分野における施策の質の向上
- ⑥スクラップ・アンド・ビルドの推進
- ⑦３年前の不幸事を踏まえ、コンプライアンス意識（法令遵守）の徹底

さいごに

今年度も、守山市役所の強みである「誠実さ」を活かして、市政の各分野、そして、各部課の課題解決に法律・条例・予算を最大限活用して、取り組んで下さい。最後の責任は私が取りましますので、自分で考え、職場で考え、思う存分取り組んで下さい。

また、引き続き、市民の声に真摯に耳を傾け、市民の立場に立って考え、市民や自治会等に寄り添った対応をお願いします。

そして、現場に出向き（現場主義で）、地域の皆さんの声に丁寧に耳を傾けて下さい。そこに解決の扉・ヒントがあるはずです。

加えて、①ホウ・レン・ソウ（報告・連絡・相談）の徹底、②自分の意見を以って、意見具申する。③危機管理の徹底（危機管理局への迅速な情報提供等）をお願いします。

平成３０年度を『守山市役所全職員が一丸となり、全員野球で課題に取組み、市民の皆様が『笑顔』一杯で、「守山に住んで良かった」と真に実感頂ける年度』にしたいと考えています。何卒よろしくお願い致します。